

節水実践その3

お洗濯



洗濯機で少しの量を洗濯するのは、水のムダになります。まとめ洗いの心がけ、機種による洗い方の工夫が節水につながります。

特におすすめ

まとめ洗いをする

水質保全



節約の目安

1年間で約1.7㎡(16,750ℓ)、約2,800円の節約
(少量の洗濯物をその都度洗う場合と、2回を一度にまとめて洗う場合の比較)

水質保全

このマークがついた節水行動は水質保全にもつながります。

特におすすめ

すすぎ前に泡切りし、「ためすすぎ」をする(2層式洗濯機)

2槽式の洗濯機で、「流しすすぎ」をすれば約290ℓ、泡切り脱水をして「ためすすぎ」をすれば約175ℓ。115ℓも節水ができます。(全自動洗濯機には「泡切り」・「ためすすぎ」機能がついています。)



節約の目安

1年間で約2.1㎡(20,930ℓ)、約3,500円の節約
(2日に1度ためすすぎで洗濯した場合)

おすすめ

汚れ別にコース選択する(全自動洗濯機)

水質保全

軽い汚れはスピードコースで洗濯すると水の使用量を30%節約できます。



節約の目安

1年間で約3㎡(3,276ℓ)、約550円の節約
(2日に1度洗濯し、その半分をスピードコースにした場合)

おすすめ

洗剤は適量にする

水質保全

洗剤が多いほどすすぎに大量の水が必要となります。(2層式洗濯機の場合は特に有効です。)洗剤の量を増やしても、汚れの落ち具合に差はありません。計量スプーンなどを使い適量を守りましょう。

洗濯液の二度利用をする

水質保全

! 量が多い時は初めに汚れの少ないものから洗い、洗濯水の二度利用に心がけましょう。
二度使えば約20%が節水できます。



節約の目安

1年間で約1.8m³(1,820ℓ)、約300円の節約
(2日に1度洗濯し、そのうち2回に一度は洗濯液の二度利用をした場合)

★ おすすめ ★

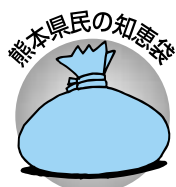


節水型洗濯機を使う

! 風呂水の給水機が設置されたものがあります。また、機種によって使用する水の量が違いますので、購入の際には水使用量の少ないものを選びましょう。ドラム式の洗濯機は従来の渦巻き式に比べ水の使用量が少なくて済みます。
(風呂水給水機付き洗濯機・市場価格:45,000円～)
(ドラム式洗濯機・市場価格:150,000円～)

洗濯用セラミック入りプラスチックボールを使う

! 洗濯機にこのボールを入れると、セラミックの働きにより、軽い汚れなら洗剤なしで、その他の洗濯物は標準の3分の1の洗剤量で洗うことができ、すすぎ水が少なくて済みます。
(市場価格:3,000円～)



靴下など下洗いの必要なものは入浴時に済ませています。

! 下洗いのために改めて水を使う必要がなく、風呂水の再利用にもなります。

残り湯を洗濯に利用する場合、できるだけ温かいうちに使っています。

! 洗剤は水の温度が高いほど汚れをよく落とします。特に水道水との温度差が大きい冬場は残り湯の利用が有効です。

小さくなった石鹸をペットボトルに入れ、風呂の残り湯で溶かして、つけおき洗い用の洗剤をつくっています。